



令和3年 1月30日 No.60号

ふれあいネットワーク

仏向地区社会福祉協議会 仏向地区民生委員児童委員協議会

地区社協への想い

仏向町内会 会長 岡村 恵子

町会長が社協の専門部の一員となった途端、このコロナ禍何も活動出来ず終わってしまいました。社協の活動は、七町会を纏めるとも器の大きな組織であると思います。それだけに大変さが計り知れません。その大切な活動を存続させて行く上で人材集めが一番の課題になると思います。各町会が個人的に御願ひするしか手段は無いかと考えて居ります。

又、先日行なわれたウォーキングは、天候にも恵まれ、笑顔で楽しく時間を過ごせたと実感しました。終了後、さつまいもと焼きそばを手に皆さん満足感の表情をされていて、今年の異状な中での息抜きが出来たと思います。皆さん、準備から当日、本当にお疲れ様でした。今回参加されなかった方の中には、家に籠って、人との接触を好まない方が増えて来てるのも事実であり、懸念される一つであります。その対応も重要課題として今後考えて行かなくてはと思います。高齢化が早足で進み、私もその一人ですが、待った無しで来てしまうので現実を把握する術を模索して行きましょう。

このコロナの終息が見えない昨今、来年こそ七町会が力を出し合って社協を支えて行けます様、心から願っております。

コロナ禍の中でも「仏向ふれあいワゴン」は、運行しました

仏向地域ケアプラザと当社協で令和元年 10 月から本格運行を始めた高齢者の買い物支援「仏向ふれあいワゴン」も新型コロナウイルスの感染拡大で令和2年4月7日に緊急事態宣言が発令された時は、一時中止するか悩みました。しかし、緊急事態宣言下であっても生活必需品は高齢者でも買い物しなければならないため、感染防止対策を徹底して実施し、運行することにしました。利用者（高齢者）からは旬の食材などを自分の目で見極めて選べ、仲間どうしの車内でのおしゃべりが出来ると大変喜ばれ、7月からは月2回運行しています。また、感染防止のため、1便の乗車人数を4~5名に制限していることもあって1便では乗り切れず2~3便/回実施しています。買い物に行く先は、主にいなげや（星川町）ですが3ヶ月に1回はサミット（岡野町）に行っています。

課題は、ボランティア運転手を増やすことですが、なかなか応募者がいないのが現実です。仏向地域ケアプラザでボランティア運転手養成講座を実施していますので、応募よろしくをお願いします。

<利用者のコメント>

家の近くから乗れて送ってもらえることが有難いです。また、食材の量、重さを気にせず買い物出来るのが嬉しい。ワゴンに乗車し知らない街並みを見る楽しさがあります。



「手作り弁当 再開しました！」

昨年2月のお弁当作りを最後に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として仏向地域ケアプラザの調理室が利用出来なくなりました。利用者さんにお弁当が届けられない寂しさを感じながら再開出来る時を待っていましたところ、7月から調理室が利用出来るようになりました。密を避けるための人数制限等の条件はありましたが、またお弁当作りが出来る喜びで一杯でした。日頃より衛生管理には注意を払っていますがより一層の管理をしています。調理が出来なかった5ヶ月のブランクは思いの外ありました。身体の動きがスムーズに運ばずドタバタしていましたが、回を重ねるにつれ勘を取り戻しました。調理ボランティアさんには名人が大勢いらっしゃいます。カット名人、揚げ方名人、味つけ名人、盛り付け名人です。各人が「おいしくなあれ」と腕によりをかけて作っています。出来上がり予定時間に間に合うよう時計の針と睨めっこしながら次の作業へと取り掛かります。出来上がったお弁当を配達員さんに渡し終わると心地よい疲れと笑顔がこぼれます。愛情一杯のお弁当お楽しみください。

配食サービス



病院送迎も頑張っています！

病院送迎は仏向地区在住のご高齢の方の病院への送迎支援を目的として実施され、もうすぐ3年を迎えようとしております。今年度もこのコロナ禍にも関わらず、万全の注意を払いながら、運転ボランティアの方たちのご協力のもと活動を休止することなく、高齢者の方の足として多くの方々に利用していただいています。仏向地区社協では、これからも少しでも多くの方に利用していただけるように、送迎できる病院の範囲を広げたり、回数を増やしたりと日々検討し、実施しております。それと同時に運転ボランティアの方も募集しております。私達仏向地区社協の想いにご賛同いただき、私達と一緒に活動して下さる運転ボランティアの方をお待ちしております。



“あんしん訪問員研修を受けて”

あんしん訪問員の制度を民生委員になるまで知らなかったのが、研修を受けてさらに詳細を知ることが出来て非常に良い機会でした。あんしん訪問員・民生委員・地域包括支援センター等と連携して活動ができるのも心強く、一人で抱えることなく、協力しあって地域の高齢者を見守るシステムになっていることも、勉強になりました。ただ、一般的にあんしん訪問員の存在はあまり知られていないように思いました。あんしん訪問員の存在を広く知られることになれば訪問を受ける方もする方も安心するのでは？と思います。2025年問題に向けてさらに助け合いの輪を広げて行けると良いと思います。民生委員としてあんしん訪問活動を始めて一年足らずですが訪問対象の方から教わることも多く、まだまだお役に立てている気がしますが、この活動に携われて視野が広がり、新しいコミュニティも増えて、とても良い経験をさせて頂いております。これからさらに勉強が続き、さまざまな経験をすることになると思いますが、周りの先輩方に教わり協力しあいながら抱え込まず楽しく続け、少しでも暮らしやすい社会のお役に立てればと思っています。 古坂 敦子



「見守り活動」

見守り活動のはじまりはもう15年以上も前になりますが、仏向小学校の児童が不審者に追いかけるということがあります。私たちができることはないかと話し合った結果、抑止力になるのではと下校時の見守りを行おうと決まりました。月に2～3回・仏向小学校と坂本小学校の低学年児童の帰宅時間に合わせ、数か所にボランティアの方たちが立っています。ボランティアさんには仏向地区社協の黄色いベストを着て自宅付近のポイントに立っていただいています。最初のころは、「お帰りなさい」と声をかけても下を向き返事のない子供もいましたが、だんだんと慣れてきて立ち止まり、学校であった話をしてくれたり元気に挨拶を返してくれるようになってきました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が休校になった時期もありましたが7月から活動を再開しました。ボランティアの年齢も高くなり卒業される方もいますし、月に2～3回程度の活動ですが、子供たちが安心して帰宅できるようにこれからも続けていきます。



お知らせ

“おしゃべりサロン”は新型コロナウイルス感染収束の状況が見えないため今年度の開催はすべて中止としました。また、例年2月に開催の“すいとんを食べる会”についても今年度は中止としました。

編集後記

コロナウイルスの図を見るたび、蛍を連想する。季節はずれの「冬の蛍」。六十年前、山あいの小高い丘を目指し、うっすら積もった雪道を登る白装束の一群。その中に、担ぎ棒を手のひらで支える幼き頃の私があった。そこは集落の墓地。井げたに積まれた薪の山、地蔵様のような祖母との別れだ。青年団に促され麓に戻る。やがて、暗闇の木立の間から、ほんのりとオレンジ色の明かりがみえだし、芯はしだいに赤みを増し、大きな炎となって上下する。火の粉は天へと昇り、蛍となって舞い降りる。悲しみではなく、崇高な思いが蛍とともに吾が身に入る。鮮明に残る記憶と祖母の日常が物事の基点となっている。コロナ禍の今も、多くの人達が先人の豊かな心を持ち、人の輪を作っている。そんな仲間と今日も一緒に働けることを幸福と思う。 (逆蛍)

秋の仏向路を歩く

11月1日(日)仏向地区社協主催の「ふれあいウォーク」が開催されました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、あらゆるイベントが次々と中止になり、地域の皆さんの集いの場となる行事が中止になる度に寂しい思いを感じていました。そこで「ふれあいウォーク」は、是非開催したいと感染症対策の話し合いを重ねました。まず参加者には連絡先を確認、当日はマスクの着用、検温、手指消毒を実施し、コースの距離は短くし、ウォーキング時は、密にならないようスタッフを配置するなど考慮して開催することに決定。当日は、絶好のウォーキング日和で、161名の参加があり爽やかな秋風の中、色づき始めた木々を眺めながら自然豊かな仏向のかくれ道を楽しんで散策しました。ゴールのコンフォール仏向町では、参加者に出来たての焼きそば、ずっしり重いさつま芋、花丸本舗の煎餅のおみやげを持ち帰って頂きました。参加者からは「久々に友達と会えて楽しかった。」「コースが変わり、新しい発見があったり、顔ぶれが変わるのも良い。」「子供の参加が少なかったのが残念。」との声がありました。なにより無事に開催出来た事が良かったと思います。皆さんお疲れ様でした。区社協のフードドライブ、イベント募金のご協力もありがとうございました。 事業企画部

<ふれあいウォーク参加者の感想>

「よし！さあ行こう」11月1日午前9時晴天！気分爽快で知人と待ち合わせの場所へ急ぎました。コロナ禍のもと、参加者は何人だろうと話しながら進むと、集合場所に近づくにつれ人が増えてきます。「ふれあい広場」には、すでに幼児から高齢者まで多くの参加者が集合、係の方からカードを受け取りました。思いがけず旧友と出会い、気分転換に久しぶりに参加したことなど話しました。道中では、係の方の交通整理などで安心して歩行できました。解散場所での大きなサツマイモや焼きそばのおみやげは、帰宅後ゆっくり味わいました。歩くことで体力増強だけでなく、日ごろの様子なども共有できる場となりました。役員の皆様、大変お世話になりました。



ただいまボランティア募集中！！

仏向地区社協では下記のボランティアを募集しています。

- | | |
|----------------------|------------|
| 病院への送迎やお買い物ワゴンの運転をする | 運転ボランティア |
| 高齢者への配食弁当の調理をする | 調理ボランティア |
| 小学校低学年児童の下校を見守る | 見守りボランティア等 |



仏向地区在住で上記のようなボランティアをやってみようかなという方は下記の窓口担当者までぜひご連絡をお願いします。お待ちしております。

市 村 ☎045 (332) 2958
内 田 ☎045 (335) 1486

